

平成 28 年 11 月 22 日

## 「教育システム改善のためのアンケート」の集計結果

資源循環システムコース教育システム改善委員会

広吉委員長

中島委員

加藤委員

### 1. はじめに

北海道大学工学部環境社会工学科資源循環システムコースでは、教育内容・方法等を継続的に改善していくことを目的として、2002年（平成14年）8月に教育システム改善委員会を設置した。本委員会は、学生・社会人を対象としたアンケートを通して、本コースの教育に対する学生・卒業生の評価・意見・要望等を受け付け、これを集計・分析してコース会議に報告することを活動の骨子としている。

ここでは、本コース学生を対象に平成28年10月に実施したアンケートの回答を集計した結果を、「別紙1」のとおり報告する。

### 2. アンケートの実施方法と書式

学部2年生、3年生および4年生を対象としたアンケートは、別紙1に示す書式（質問書と回答書）を用いて下記の要領で実施した。

アンケート実施要領

対 象	実施時期		備 考
2 年生	平成 28 年 10 月 4 日	授業にて	授業中に配布，回収
3 年生	平成 28 年 10 月 3 日	授業にて	授業中に配布，回収
4 年生	平成 28 年 10 月 3 日	各研究室	研究室ごとに配布，回収

### 3. 集計・分析結果

別紙1に各学年のアンケート集計結果を示す。以下では、教育システム改善委員会が行った分析結果を設問毎にまとめて示す。今回のアンケートの回答率は2年生が34名/35名

(97.1%), 3年生が32名/37名(86.5%), 4年生が27名/36名(75.0%)であった。

設問1-(2)では「進路希望」について問うており、進路の決定している4年生を除くと、2年生は47%, 3年生は81%の学生が大学院進学を希望している結果となった。例年と比べると、特に2年生が低い割合となっており、これまでのアンケート結果と合わせると、学部の早い時期から大学院への進学を目指している学生が減少傾向にあることがわかる。

設問2-(1)は、「すばらしかった科目」について問うており、件数の多い順から「流体力学」(18件)、「地球科学」(11件)、「応用数学Ⅰ」(10件)、「インターンシップ」(9件)、「応用数学演習Ⅰ」(8件)、「資源循環デザイン」(5件)、「コンストラクションマネジメント」(5件)という結果となった。個別のコメントとしては、「教え方が上手で、説明がわかりやすかった」「演習により理解が深まった」「プレゼン力が身についた」「実験が専門的で面白かった」「現場を見ることで貴重な体験ができた」などであった。

設問2-(2)は、「内容に問題のある科目」について問うたものである。件数の多い順から「基礎図形科学」(11件)、「建設材料」(10件)、「土の力学Ⅱ」(5件)、「熱力学」(4件)という結果となった。個別のコメントとしては、「内容が難しすぎて、授業についていけなかった」「教え方が下手」「英語が難しい」「板書やスライドが見づらい」「テストの内容に問題あり」などであった。

設問2-(3)は、「成績評価に問題がある科目」について問うたものであり、これについては指摘の特に多かった科目はなかった。少数意見としては、「出席のみによる成績評価」、「思ったより評価が低かった」「テストの採点に疑問を感じた」などがあつた。

これらの科目の内、改善が必要とされる科目への改善策は別紙2にて提案する。

設問2-(4)は、その他「カリキュラム」に関する意見を求めたものであり、「教職とかぶって授業がとれないので、時間割の見直しをしてほしい」「今まで通り広い専門知識を学べる資源であってほしい」などの意見があつた。

2016 年（平成 28 年）10 月 4 日

資源循環システムコース学生の皆様

資源循環システムコース コース長  
佐藤 努

## 教育システム改善のためのアンケート(平成28年度)

学生の皆さんにより良い教育サービスを提供する…これが大学の使命です。  
このためには、教育の目標や内容・方法について吟味し、その改善のための努力をたゆむことなく続けていく必要があります。そして、この努力を実のあるものとするためには、サービスの受益者たる学生・卒業生の皆さんの意見を知らることが不可欠です。

以上のような考えから、北海道大学工学部 資源循環システムコースでは、教育システム改善委員会を設置し、学生・卒業生の皆さんを対象としたアンケートを定期的実施して、その声を教育システムの改善のために反映させていくことと致しました。多少骨の折れるアンケートだとは思いますが、皆さん自身あるいは後輩たちのことを考えて、ご協力下さい。

それでは、以下の質問に対してお答えください。回答は添付した回答用紙の該当個所に記入して教育システム改善委員会に提出してください。

質問（共通）

### 1. あなた自身について

まず、あなた自身についてお聞かせください。

(1) あなたの学年・身分は？ 該当するものを選んで記号を○で囲んでください。

- A：学部 2 年      B：学部 3 年      C：学部 4 年      D：大学院生  
E：社会人（技術系）      F：社会人（非技術系）      G：その他

(2) あなた（学部学生，大学院生）はどのような進路を考えていますか？

あなた（社会人）はどのようなお仕事に就かれていますか？

例えば、「大学院進学」、「環境関連の研究者」、「建設業界」などのように記入してください。

## 2. カリキュラムについて

3ページの目のカリキュラム表を見て、下記(1)～(3)の質問にお答えください(複数回答可)。受講されていない科目もあるかと思いますが、本年度前期(4～9月)に受講したもののみ回答してください。「科目番号」とは、カリキュラム表内に記載されている番号です。又、(4)に関してはご自由に記述ください。

- (1) 授業の内容・方法等がすばらしかった科目があれば、「科目番号」を記入して「どのようにすばらしかったのか」をできるだけ具体的に述べてください。

例：「高度な内容にもかかわらず授業の構成が上手で理解しやすかった」「実物に触れる機会が多く、具体的にできた」「厳しかったが熱意を感じ、やる気がでた」「質問に対して的確に誠意をもって返答してくれた」「ユーモアにあふれ退屈しなかった」等々

科目番号 \_\_\_\_\_

科目番号 \_\_\_\_\_

- (2) 授業の内容・方法等に問題を感じた科目があれば、「科目番号」を記入して「どんな問題があったのか」をできるだけ具体的に述べてください。また、「問題の解決法・改善策」について意見のある方は、これについても述べてください。

例：「むつかしすぎて(勉強したにもかかわらず)ついていけなかった」「簡単すぎる」「シラバスと授業内容が全く異なる」「欠講が多い」「板書をもっと整理すべきだ」「声がきこえない」「駄洒落はいらない」等々

科目番号 \_\_\_\_\_

科目番号 \_\_\_\_\_

- (3) 成績の評価に疑問を感じた科目があれば、「科目番号」を記入し、「その理由」をできるだけ具体的に述べてください。

例：「ほとんど出席していないのに優だった」「友だちより出席・テストいずれもいいはずなのに彼は優で私は可だった」「授業に出ていない内容がテストに出た」「成績が入っていない」等々

科目番号 \_\_\_\_\_

科目番号 \_\_\_\_\_

- (4) その他、「カリキュラム」に関してご意見があれば自由に述べてください。

\_\_\_\_\_

**ご協力ありがとうございました。**

【提出は担当の先生、またはコース秘書(A616)までお願いします】

<カリキュラム表>

質問 (2年生用)

科目番号・科目名	単位	必修・選択	学期	講義・演習・ 実験の別
1 応用数学 I	2	必修	2・I	講義
2 応用数学演習 I	1	必修	2・I	演習
3 基礎図形科学	2	選択	2・I	講義
4 地球科学	2	必修	2・I	講義
5 弾性体の力学	2	必修	2・I	講義
6 熱力学	2	必修	2・I	講義
7 計測工学	2	必修	2・I	講義
8 建設材料	2	選択	2・I	講義
9 資源循環デザイン	1	必修	2・I	演習
10 生物工学概論	2	選択	2・I	講義
11 情報エレクトロニクス概論	2	選択	2・I	講義

<カリキュラム表>

質問 (3年生用)

科目番号・科目名	単位	必修・選択	学期	講義・演習・ 実験の別
1 流体力学	2	必修	3・I	講義
2 土の力学 II	2	選択	3・I	講義
3 物理化学演習	1	必修	3・I	演習
4 建築都市学概論	2	選択	3・I	講義
5 資源循環システム実験II	1	必修	3・I	実験
6 粉体工学	2	必修	3・I	講義
7 インターンシップ	1	選択	3・I	実習
8 岩盤工学	2	必修	3・I	講義
9 環境化学	2	必修	3・I	講義
10 資源化学II	2	選択	3・I	講義
11 資源循環システムII	1	選択	3・I	演習

<カリキュラム表>

質問（4年生用）

科目番号・科目名	単位	必修・選択	学期	講義・演習・ 実験の別
1 廃棄物処理工学	2	選択	4・I	講義
2 気象学	2	選択	4・I	講義
3 機械工学概論	2	選択	4・I	講義
4 コンストラクションマネジメント	2	選択	4・I	講義
5 現代物理学概論	2	選択	4・I	講義
6 材料工学概論	2	選択	4・I	講義

# 教育システム改善のためのアンケート(平成28年度 秋)

## 2年生集計結果

実施日:平成28年10月4日

対象数	学部2年 35名	回答数	34名	回答率	97.1%
-----	----------	-----	-----	-----	-------

### 1-(2)

内 容	回答数
大学院進学	16
就職	9
未定	4
その他	5

就職(9名)の詳細	就職 (2名)
	企業 (2名)
	建設業界
	教師
	営業
	石油関連企業
	公務員

その他(5名)の詳細	とりあえず立派な大人
	科学の発展に貢献
	地球や宇宙関連の研究や仕事
	技術士
	環境保護か貧困問題に尽力したい

## 2-(1)

科目名	件数
応用数学 I	10
応用数学演習 I	8
地球科学	11
弾性体の力学	2
熱力学	2
計測工学	1
建設材料	1
資源循環デザイン	5
生物工学概論	1
情報エレクトロニクス概論	2

## 2-(2)

科目名	件数
応用数学演習 I	2
基礎図形科学	11
熱力学	4
計測工学	1
建設材料	10
生物工学概論	2
情報エレクトロニクス概論	2

## 2-(3)

科目名	件数
応用数学演習 I	2
地球科学	1
弾性体の力学	1
熱力学	1
建設材料	1
資源循環デザイン	1
生物工学概論	1
情報エレクトロニクス概論	2

## 2-(4)

ないと思う。
楽しかった
資源で良かった！！
教職とかぶって、全然授業がとれない。4学期制にしてもいいが、きちんと4年でとりきれ るよう時間割の見直しをしてほしい。
特になし
特にない

# 教育システム改善のためのアンケート(平成28年度 秋)

## 3年生集計結果

実施日:平成28年10月3日

対象数	学部3年 37名	回答数	32名	回答率	86.5%
-----	----------	-----	-----	-----	-------

### 1-(2)

内 容	回答数
大学院進学	26
就職	4
未定	2

就職(4名)の詳細	建設系
	公務員
	資源関係(業者or商社)
	教育関係

## 2-(1)

科目名	件数
流体力学	18
土の力学Ⅱ	2
資源循環システム 実験Ⅱ	3
粉体工学	3
インターンシップ	9
岩盤工学	1
環境化学	1
資源化学Ⅱ	1
資源循環システムⅡ	1

## 2-(2)

科目名	件数
土の力学Ⅱ	5
物理化学演習	1
建築都市学概論	2
資源循環システム 実験Ⅱ	1
環境化学	1
資源化学Ⅱ	1

2-(3)

科目名	件数
流体力学	1
土の力学Ⅱ	1
物理化学演習	1
資源循環システムⅡ	1

2-(4)

回答者なし

# 教育システム改善のためのアンケート(平成28年度 秋)

## 4年生集計結果

実施日:平成28年10月3日

対象数	学部4年 36名	回答数	27名	回答率	75.0%
-----	----------	-----	-----	-----	-------

### 1-(2)

内 容	回答数
大学院進学	23
就職	4

就職(4名)の詳細	公務員 (2名)
	就職
	ゼネコン、資源系の企業

## 2-(1)

科目名	件数
気象学	2
コンストラクションマ ネジメント	5
現代物理学概論	2
材料工学概論	1

2-(2)

科目名	件数
廃棄物処理工学	1
気象学	1
コンストラクションマ ネジメント	1
材料工学概論	2

2-(3)

科目名	件数
気象学	2
材料工学概論	3

2-(4)

今まで通り広い専門知識を学べる資源であってほしい。心から思います。